

《越谷西特別支援学校 松伏分校の活性化・特色化方針》

種別	知的障害	学部・学科	高等部	R4.5.1 児童・生徒数 (男) 18名 (女) 14名	計32名
アクセス	《松伏高校前バス停（松伏高校校門より徒歩0分）》 ①東武スカイツリーライン 北越谷駅東口バス停発。 エローラ行に乘車。1時間に5本程度。乗車時間20分程度。 ②JR武蔵野線 吉川駅北口バス停発。 エローラ行等に乘車。1時間に2本程度。乗車時間は25分程度。 ③JR武蔵野線 南越谷駅南口バス停発。 東埼玉テクノポリス行に乘車。1時間に1本程度。乗車時間30分程度。				
＜教育課程等＞					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科学習の充実 国語を中心とした、中学校まで積み上げてきた基礎基本の定着を図ります。 ・職業教育の充実 職業として「ビルメンテナンス」「農園芸」「食品加工」「オフィス作業」をすべて経験し、自分の得意の分野を見つけます。 併せて、デュアルシステムの形で職場体験を行い、実践的な経験を積みます。 ・自立活動の充実 自立活動の時間を設定し、個々の課題に対して適切な支援を行います。集団や抽出（個別）の取組を行います。 					
＜学校行事・部活動＞					
<ul style="list-style-type: none"> ・校外行事 <ul style="list-style-type: none"> ①校外宿泊 (例) 1年生：校外宿泊学習（県内） 2年生：林間学校（那須方面） 3年生：修学旅行 ②社会体験学習 1年生：浅草方面 2年生：羽田方面 3年生：県外施設 併せて3年計画でさいたま市にある「埼玉県障害者交流センター」を利用の予定。 ・部活動 <ul style="list-style-type: none"> 運動系 運動部：県の大会に合わせてサッカー、バスケットボールに取り組みます。 文化系 書道部：様々な書体に挑戦し、展覧会出品を目指します。 器楽部：自分の好きな楽器に挑戦します。 美術部：様々な美術技法を学びながら、作品づくりに取り組みます。 パソコン部：パソコンスキルの向上を図りながら楽しみます。 					
＜家庭・地域との連携＞					
<ul style="list-style-type: none"> ・松伏高校との交流及び共同学習 <ul style="list-style-type: none"> ①松伏高校との合同の行事。(例) 新入生歓迎会、体育祭、文化祭、避難訓練 等。 ②松伏高校の授業参加。(例) 授業参加、合同の部活動。 ③松伏分校の授業参加。(例) 松伏分校の「職業」等の授業参加。 ・文教大学との交流及び共同学習 <ul style="list-style-type: none"> ①松伏分校の授業、部活動参加。 ②文教大学への訪問、講義体験。 ③オンライン交流。 					
＜進路＞					
<p>松伏分校は令和3年度開校しました。 学年進行で生徒が入学するため、進路情報は令和5年度までありません。</p>					



埼玉県立越谷西特別支援学校 松伏分校 育成方針

《松伏分校教育目標》 自ら学び、考え、行動し、「なりたい自分を創る」

分校カリキュラム

教科指導

「国語」「数学」
 「社会」「外国語」
 「理科」「情報」
 「音楽」「美術」
 「総合的な探究の時間」
 「保健体育」「家庭」
 「職業」「自立活動」

職業教育

<学年>
 ・デュアルシステムでの職業体験
 <学部>
 ・食品加工
 ・ビルメンテナンス
 ・農業・オフィス作業

・確かな学力の定着
 ・資格取得

・社会体験学習
 ・宿泊学習
 ・部活動等

教科指導

学校行事

職業教育

交流及び共同学習

自立活動の充実

松伏分校の特色

- ①松伏高校・文教大学との連携
交流及び共同学習
行事等の交流
- ②職業教育の充実
デュアルシステム等
による多様な職業体験
- ③自立活動の充実
- ④充実した施設
- ⑤ICT機器を活用した
授業
- ⑥交通の便の良さ
- ⑦落ち着いた環境
- ⑧多様な専門家



・地域との交流
 ・松伏高校との交流



決定期
 なりたい自分を見つける。

実践期
 体験し、振り返る。

基礎基本の習得②
 自分を知り何ができるか考える。

基礎基本の習得①
 働くことの意味を知る。

